

豚の音

農商會收音網組長ハンター氏 J. A. Hunter

豚の營養 J. A. Hunter

物をさがし出して食べるが、臺灣では多くは豚小舎の中にとぢ込められておくので、普通の飼料のほかに礦物質を努めて與へる様にしなければならない。その爲には石灰粉、骨粉を飼料に混ぜてやり、子豚には其のほか鐵分を供給するため硫酸鐵粉を與へる必要がある。豚は牛にくらべて其程度多くの飼料が必要としないが、それでも規則的に少量を與へるべきである。(5) B・Dを豚に與へる必要がある。ビタミンA(エー)は新鮮な植物例如へば芋の茎や暗黄色になつてゐる。ビタミンD(デイ)は最も安く容易に得られる營養粉である。ビタミンA(エー)は花粉粒などの飼料の中に充分含まれてゐる。ビタミンD(デイ)は最も安く容易に得られる營養粉であるにもかゝらず臺灣の豚の多くはこのビタミンに缺乏してゐるのは奇怪である。毎日一時間位づゝ豚に日光浴をさせればビタミンDは自然に體内に發生するものである。その時間は午前十時から午後二時頃までが適當である。臺灣の口でも、實際には光線が雲から洩れてゐるのであるから、なるべく時間をきめて豚を戸外に出す事をおすすめする。

豚は牛の様に胃が大きく幾つにも分かれているので、一時に大量の纖維性或は野菜飼料を與へると消化不良になつて、折角食べた外の營養分までを無駄にしてしまう。中文の圖(圖三)によつて御覽になれば豚と牛の胃の大きさを比較ができる事と思ふ。

最後に最も重要な事は、さきに述べた種々の營養分を適當に与へなければならぬ事である。もしも或る種の營養分が少すぎり場合には、他の營養分を補ら興へても無駄になるばかりである。圖の様に豚に飼料をやる場合に幾ら多く炭水化合物(芋類)を與へても、蛋白質(豆餅或は花生粕)が足りなければ豚は營養不良となつて肥らない。(圖四)次の表は、三十三台斤から約百五十台斤の豚を標準として、五種の飼料を適當に配合したものである。

◎施肥：毎ヘクタールについて堆肥七〇〇公斤（一一六二臺斤）を施し、その上に過磷酸石灰六〇〇公斤（約一〇〇臺斤）を加へればなほ更良い。度せた土地には硫酸アンモニア五〇〇公斤（八三臺斤）を施す必要がある。

◎灌水・排水：播種後晴天が伸びるも續くと土壤が乾燥して、種子が容易に發芽しないから、その時は灌水を行ふべきである。反対に大雨のあつた時には、種子が流されぬないかを確め、溝内に水が溜つてゐる時には排水を行ふ。硫酸アンモニアを少しばかり施すと良い。

◎刈取とスヰ込：播種してから翌年の二月か三月に第一回目の開花があつた後、發芽する。第二回目の開花が近づいたら、種子にするものを除いて、手を使つて全部を茶樹の根部にスキ込んでしまう。傾斜面の場合には鋤を用ひて行ふ。

この外ルーピン栽培には次の諸點に特に注意して頂きたい。

(1)傾斜茶園に於いてルーピンの發芽が困難な場合には、まず平地茶園に於いて栽培をしてから次に傾斜面に移して行くと良い。(2)初めてルーピン栽培を行ふ時には、綠肥をつくつた事のある土壤を混ぜると根瘤細菌を増加して成長を促進する。(3)ルーピンは長年にわたってルーピン栽培をすると「嫌地病」を發生し易いから、連續して三年間栽培するに便利な場所を選ぶべきだ。(4)ルーピン種子の中には硬粒種子がよく混つて居り、發芽し難いから播種前に竹桿で表皮を打破つておく事。(5)第一年目に栽培したルーピンの發育が不良でも失望する必要はない。原因は土壤中の根瘤菌の繁殖力が弱いからであつて、續けて第二年目に行はねばならない。要點は(二)整地：整地の良否は草麻の發芽や發育に大きな影響を及ぼすから周到に水に便利な場所を選ぶべきである。土地は乾、濕が過ぎても共に良くない。要點は次の如くである。

スギ起しの前に土蔓及肥料全量半分を基肥として施す)、そのもう一度耙で土塊を細くする。
2 稲を使つた後、今度は手で地面を平らにして、あらゆる土塊を粉碎する。
3 整地が終つたら、五尺間の土を鍬で掘つて畦の上に耕作して二(三)センチの耕溝を設ける。培土をした畦の土やはり細く碎いて平にしなければならない。畦面の土が平均していかないと、発芽が揃はないから特に注意して頂きたい。
(三)播種：整地が出来たら灌水を行ひ、畑全面が充分に水を吸い込んだら、すぐに排水を行つて播種を始める。播種は畑一面に平均にするのが要點であるが、そのには畠面積から割出して播種量を決めて、これを二～三回に分けて播く。播種の際には種子と一緒に二〇倍の細土糞を混せて播と仕事が楽な上に、発芽にもよる。